

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)保育理念「生きる力を創る」 ・保育理念に基づいた、子ども1人1人の育ちや個性を大切にする保育を行う 2)保育目標 ・協調性（仲間を大切にし、思いやりのある子ども） ・のびのび（心身ともに健やかで、意欲的に活動できるこども） ・試行錯誤（最後まで諦めず、行動できる子ども） ・探索活動（挑戦することを楽しみ、自ら表現する子ども） 3)保育方針 ・協調性をもち、他社を尊重し認めあう心を育てる ・のびのびと自己表現ができる環境を提供する ・試行錯誤する中で考え創造し、自分で判断する力を養う ・探索活動を大切にし、子どもの興味や関心に寄り添う
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	・自ら目標を立て、その達成のために計画的に業務を行うことができる ・視野を広く持ち、円滑な園運営のために積極的に行動できる ・他の職員を巻き込み、協力して業務を遂行するチームプレイヤー
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	・専門職である意識を持って子どもや保護者と関わり、保育に関わるあらゆる業務を意欲的に行う ・自ら考え、自発的に行動する ・責任感を持って、自らの仕事を最後までやり抜く

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	調査対象者は、在園児の保護者全員とし、複数の子どもが通っている場合は、いずれかの子どもを保護者が選択して、1世帯1回答で回答してもらいました。	
調査方法	＜＜アンケート方式＞＞WEBアンケート方式でおこないました。WEB用アンケート案内用紙を園より全世帯に配布し、WEBにて回答してもらいました。9世帯に配布、8世帯より回答を得ました。	
	利用者総数	9
	利用者家族総数（世帯）	9
	共通評価項目による調査対象者数	9
	共通評価項目による調査の有効回答者数	8
	利用者総数に対する回答者割合（％）	88.9％

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合評価は、「大変満足」が50％（4名）、「満足」が50％（4名）で、回答した全ての世帯が「満足以上」と答えています。自由記述では、「子どものことをよく見て対応してくださり、安心して預けられます。子どもも保育園が大好きで毎日楽しく登園できています。いつもありがとうございます。」「いつも温かく子どもと接していただきありがとうございます。子どももののびのびと園生活を送れているようです。」といった、家庭的な雰囲気の中、職員が子どもに対して優しく接する姿に感謝する声が寄せられています。項目別では、6項目で全員が「はい」と回答しており、特に「毎日の保育サービスについて」では、4問中、3問で全世帯が「はい」と回答しています。保育サービスについて、保護者の満足度が非常に高いことがうかがえます。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	8	0	0	0
この項目は「はい」が100％となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	8	0	0	0
この項目は「はい」が100％となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	6	2	0	0
この項目は「はい」が75％、「どちらともいえない」が25％となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも	いいえ	無回答

		いえない		非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	8	0	0	0
この項目は「はい」が100%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	1	0	0
この項目は「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	6	1	0	1
この項目は「はい」が75%、「どちらともいえない」が12.5%、「非該当」が12.5%となっています。自由記述では、「お外遊びの様子を見たことはありません。」といった意見がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	7	1	0	0
この項目は「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	6	2	0	0
この項目は「はい」が75%、「どちらともいえない」が25%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	8	0	0	0
この項目は「はい」が100%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	7	1	0	0
この項目は「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	6	1	0	1
この項目は「はい」が75%、「どちらともいえない」が12.5%、「非該当」が12.5%となっています。自由記述では、「まだそのような状況になったことはありません。」といった意見がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	5	1	0	2
この項目は「はい」が62.5%、「どちらともいえない」が12.5%、「非該当」が25%となっています。自由記述では、「まだそのような経験がありません。」といった意見がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	8	0	0	0
この項目は「はい」が100%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	6	0	0	2
この項目は「はい」が75%、「非該当」が25%となっています。自由記述では、「そのような依頼をした経験がありません。」といった意見がありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	8	0	0	0
この項目は「はい」が100%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	6	1	0	1
この項目は「はい」が75%、「どちらともいえない」が12.5%、「非該当」が12.5%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	3	2	0	2
この項目は「はい」が37.5%、「どちらともいえない」が25%、「非該当」が37.5%となっています。この項目のコメントはありませんでした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリ1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1（1-1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
	評価項目1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリ1の講評		カテゴリ1の講評を入力してください
	① 保育理念や保育方針などは目に付きやすい場所に掲示、掲載し周知をしています 保育理念「生きる力を創る」をはじめとした保育方針や保育目標は、園玄関に掲示のほか、園のパンフレット、園のホームページ、重要事項説明書などに掲載しており、職員および保護者や利用希望者に理念や方針を周知しています。職員には理念や方針、規範や保育の心得を示した法人作成の「保育の心得」（通称：木下の心得）を配布しているほか、園内研修や昼礼で取り上げ全員に周知しています。保護者には入園時には個別に入園時面談をおこない、園長が直接理念や方針を伝えるほか、園だよりや連絡アプリの配信等で周知する取り組みがあります。 ② 理念を実現するために、法人本社と園でそれぞれ実現に向けた取り組みがあります 新入職員には入職時に本社の集合研修で理念や方針を学ぶほか、全職員の意識共有を目的とした「木下の心		

得」の配布など組織的に理念を周知浸透させる取り組みがあります。園長は毎週おこなわれる園長報告会での代表の言葉や本社の方針を、その日の内に園の昼礼（職員会議）で全職員に周知する取り組みがあります。昼礼や全体会議で園長からの想いや、これから園としてやるべきことなどを伝えています。研修報告会では、研修の学びを園で目指すことに紐づけて共有したり、共通の認識を持ち実現に向けた園内研修をおこなっています。

③重要な案件は伝達経路を策定し職員や保護者に周知漏れのないように伝えています

重要な案件は本社から毎週の園長報告会を経て、園の昼礼で全職員に周知し、保育士ノートに議事録として残す伝達経路が策定されています。各伝達事項がまとめられた保育士ノートは、出勤時と退勤時に出勤していない日の分も含めて全職員が記名または押印確認をし周知漏れの無いようにしています。保護者には園だよりや連絡アプリでの配信、おたより配布、お知らせの掲示のほか、送迎時に口頭でも伝えています。園に関する案件は、園で園長が関係職員や副主任と情報共有および検討し、その後本社と共有後、昼礼・保育士ノートで全体に周知しています。

2

カテゴリー 2

事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー 1 (2-1)

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点 (〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー 2 (2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目 2

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方	○非該当

	法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評 カテゴリー2の講評を入力してください		
① 意見を柔軟に取り入れ、新しい取り組みにも迅速に着手しサービス向上に努めています 保護者からの意見は、行事後のアンケートや、保護者面談、登降園時の会話で情報を収集しています。職員からの意見は、毎月の職員面談や日々の会話から把握できるようにしています。ヒアリングした内容は、内容により園長、副主任が検討し、本社へ報告の上、実行できるものは迅速に実行に移す取り組みがあります。昨年度までは、年に1回保護者アンケートをおこなっていましたが、今年度中に通年でいつでも意見や要望を収集できるようにしたいとご意見投稿ボックスの設置を予定しています。職員の意見からアプリ配信を始めるなど向上に努めています。 ② 目標達成に向け園独自の5か年の中長期計画を策定し単年度の各計画につなげています 木下の保育理念を重要な軸にして、園長と副主任が相談しながら園独自の5か年の中長期計画を策定しています。単年度ごとに目標を掲げ、昼礼や半期毎の全体会議で進捗状況の確認と振り返り、計画の見直しをおこない周知しています。保育理念と中長期計画をもとに年度毎の各計画につなげています。達成に向け年度始めの各リーダー任命時にマニフェストの策定をおこなっています。マニフェストには実現度合いが定量化できるよう具体的な数字を盛り込み、毎月の面談で進捗を確認し、計画を見直しながら目標達成に向かう取り組みがあります。 ③ 各計画はそれぞれリーダーを任命し、マニフェストを策定し実行に取り組んでいます キャリアアップ研修の専門分野を加味し分野分けした各リーダーを年始に本人の希望をふまえ園長が任命し、職員全員がいずれかのリーダーとなるようにし、園が目指す姿を念頭に、マニフェストで年間目標を一人3つ立て、今までの経験に加え、新たに研修で得た知識を活かし達成に向かう取り組みがあります。毎月の面談で進捗を確認するほか、年度末の面談で評価・反省し、マニフェストに振り返りを記録しています。年度末に自己評価と一年の振り返りを職員全員でおこない、結果は毎年園玄関に保育所保育自己評価ファイルを設置し公表しています。		
3	カテゴリー3	
経営における社会的責任		
サブカテゴリー1（3-1）		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		
評価 標準項目 評点（○○）		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー2（3-2）		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1		

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点（ 〇〇 ）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している 評点（ 〇〇 ）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ 3（3-3）		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点（ 〇〇 ）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点（ 〇〇〇 ）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ 3 の講評		カテゴリ 3 の講評を入力してください
① 遵守すべき法令や規則などのコンプライアンスに対し組織的な取り組みがあります 職員が遵守すべき事項は法人の「木下の心得」、就業規則、各種マニュアルのほか、足立区教育・保育の質ガイドライン及び、保育実践振り返りシートを活用して確認しています。規程集をファイルにまとめ、関連する各種冊子の配布などをおこなっています。園内研修や昼礼、職員面談で事例や時事的な出来事を絡め、コンプライアンスの必要性を随時伝え、話し合い意識する取り組みがあります。年2回、区の保育実践振り返りシートで自己チェックし全体会議時に、振り返り結果を共有しています。		
② 相談・苦情等の対応、虐待防止への取り組みについて組織的な体制を整備しています 相談・苦情に対し、入園時に苦情解決制度について記載のある重要事項説明書を配布し読み合わせをしています。重要事項説明書は玄関にも設置しているほか、玄関に掲示でも相談・苦情の連絡先を周知をしています。苦情の場合、本社や必要に応じて区役所にも速やかに報告後、解決に向け対応し、内容や対応時の経過、結果を報告書に記録しています。虐待防止については心得や資料、マニユア		

③ 保育園体験をおこない専門性を活かし子育て相談に答えるなど地域貢献活動があります
園では地域に開かれた園づくりを目指し、地域の子育てニーズに応え0～2歳児中心に一時保育の受け入れをおこなっているほか、園独自の子育て支援の取り組みとして毎月1～2回保育園体験を地域の子育て家庭に向けおこなっています。保育園体験は二部制に分け、保育を体験してもらうほか子育て相談にも答え、育児の不安に寄り添う地域貢献活動をおこなっています。在園児は地域交流会として、駅や交番の訪問、連携園の公立保育園で園児と遊んだり、神社での七五三/初詣、隅田川土手での土手滑りなど地域資源を活用した積極的な交流活動があります。

4

カテゴリ－4

リスクマネジメント

サブカテゴリ－1（4－1）

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ－毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点（ ○○○○○ ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ－2（4－2）

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリ－毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点（ ○○○○ ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリ－4の講評

カテゴリ－4の講評を入力してください

① 安全衛生リーダーを筆頭に安全安心に備え園内研修や、各種訓練を実施しています
安全衛生リーダーはAEDの内部研修をおこなうほか、ヒヤリハット、ケガ、トラブルをそれぞれ曜日や時間帯、場所等を集計しグラフ化するなどして視覚的にわかりやすくまとめ、昼礼で分析と振り返りをおこない周知と再発防止に努める取り組みがあります。引き取り訓練では、災害用伝言ダイヤルの保護者への説明は口頭だけで済ませず、実践し周知しています。園長は日常の鈍化や慣れなど、日々の業務にこそリスクマネジメントの取り組みが重要であると認識しており、日常的に安全について話し合うなど高い危機管理意識を持ち続ける取り組みがあります。

④ BCP（事業継続計画）を策定しており、常に改善し有事に備える取り組みがあります
緊急事態後の事業継続・早期復旧を目指すためのBCPは、園長が園独自に策定しています。園長は行政や自治体等の資料を参考に水害、地震、台風・大雨洪水等を災害別に分類し、それぞれ5段階に分けた警戒レベル別に有事の際の避難の判断基準や動き、職員体制や保護者等への通知内容等を詳細に一覧でまとめた園独自の災害対策マニュアルを策定しており、訓練時などに都度職員と確認、周知をおこない、随時見直すことで実践的なものとなるように整備しています。新型コロナ対策は本社や自治体と連携をとりながら職員間で情報共有し対応しています。

② 個人情報など重要書類の取り扱いについて厳重に管理する組織的な仕組みがあります
個人情報などの重要書類の扱いは入職時に研修をおこない、就業規則や誓約書で情報管理についての規程を示し、その後は本社の通達や改定があった場合など適時遵守するようルールを確認をしています。パソコンの重要データには管理者のみが知るパスワードを設定し、重要ファイルは園長、副主任のみが開錠番号を知る施錠書棚に分けて保管するなど、必要以上の人間が閲覧出来ないようにしています。保育実習者も含め、情報の取り扱いに対してのルールを書面で明示し、署名捺印を義務付けるなど個人情報の取り扱いを徹底する組織的な仕組みがあります。

5

カテゴリー 5

職員と組織の能力向上

サブカテゴリー 1（5-1）

事業所が目指している経営・サービスを実現する
人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点（ 〇〇 ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目 2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点（ 〇〇 ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目 3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点（ 〇〇〇〇 ）

評価	標準項目	
----	------	--

●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点（ ○○○○ ）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2（5－2）		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点（ ○○○ ）		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 5 の講評 カテゴリー 5 の講評を入力してください		
① 本社と園で連携して採用活動をおこなうなど人材確保の組織的な体制を整備しています 新卒採用は募集や選考を本社がおこない、リモートもしくは対面での園見学を実施し園長が対応をしています。中途採用の募集は本社でおこない、応募者の連絡を受け、園長が採用活動に加わります。常勤保育士の場合、面接を本社と園長でおこない、面接後、採用可否は園長が判断した後、本社の承認を得ています。常勤調理師、非常勤保育士、保育補助の場合は、園長が面談しています。人員配置は本人の意向と状況をふまえ適材適所に配置していますが、職員が望んだ場合には、本社への相談、承認のうえ系列園への異動が可能な組織的な仕組みがあります。		
② キャリアパスに応じた研修を受講し、研修報告会と園内研修を隔月で実施しています 本社が経験年数や職務内容を分かりやすく記したキャリアパスを作成し、園では各職員のキャリアパスに応じた外部研修の受講を積極的に勧めています。キャリアアップ研修に関しては職員の意向や年次に基づき、どの科目を受講すべきかを伝え受講状況を管理しています。隔月で研修報告会を実施し学びや気づきを共有する取り組みがあります。キャリアアップ専門分野の各リーダーが実施する園内研修では、全職員が参加できるよう、同じ内容で2回実施しています。また、経験豊富な職員から現場で学べるよう担当クラスを同じにするなどの取り組みがあります。		
③ 職員の定着とチームワークのための組織的な取り組みがあります 職員が休暇の取得がしやすいように希望シフト制を導入し、ワークライフバランスを支援しています。フラットで風通しのよい組織づくりに努め、毎月面談をおこない継続的に職員の意識の把握に努めています。チ		

	ームワークの構築と向上のため、全職員参加の園内研修でグループワークをおこなったり、担当クラス外の職員との接点づくりに行事やイベントの担当の割り振りを、常勤、非常勤、保育、調理の壁を取り払い、一緒に担当にするなどして円滑なコミュニケーションが日頃からできるようにする組織的な取り組みがあります。	
7	カテゴリー 7	
	事業所の重要課題に対する組織的な活動	
	サブカテゴリー 1 (7-1)	
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
	評価項目 1	
	事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）	
	前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
	木下の保育園の「生きる力を創る」という保育理念に基づき、コーナー保育を導入する保育環境の整備に加え、保育士の子どもの見守り方や関わり方などを見直し、実践することを課題とし取り組みをおこないました。理由としては保育室の環境が、子どもの主体性や豊かな人間性を育むことを目指す環境として改善の必要性を感じていたため、自ら遊びを選択できたり、遊び込む経験が重ねられるような環境を整備したいと考えました。その実現のために、園内研修を2～3か月に一度、全職員が出席できるよう日程を2日間に分け、現環境の課題の抽出やその解決策、解決策から導き出されたあるべき姿について話し合いました。環境のイメージを図や写真を使って具体的にすり合わせ共有し、導入を開始しました。導入後も、遊び込める環境になっているか、子どもの月齢やこれから育て欲しい姿に合っているか、遊びの様子について都度意見を出し合い、環境のアップデートに取り組み、コーナー保育での保育はどのようなべきかについても、話し合いを続けました。結果、コーナー保育によって子どもが主体的に生き生きと遊べるような姿が確認できました。引き続きアップデートに取り組んでいく計画があります。	
	目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
	取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
	環境の整備と同時に、新しい環境下での新しい保育にも取り組みたいと考え、保育室を遊びの分類別でコーナー分けをするコーナー保育作りに取り組みました。コーナー保育は乳児リーダーが他の職員の意見を吸い上げまとめ、遊びの種類ごとのグループ分け、設置したい玩具を決め購入したり、手作り玩具の製作をするなどし、導入後は園内研修での話し合いをもとに見直しを何度も繰り返しおこなうPDCAに沿った取り組みがありました。コーナー保育という新しい環境下での子どもたちへの関り方がどうあるべきかを考えたり、何度か話し合いを重ね見直しをおこなっていった結果、子どもたちが自発的に好きな遊びに集中する姿が見られるようになり、職員は自主性を見守ることを意識して保育するようになりました。関わり方を深く考える点では保育の質の向上にもつながる取り組みとなりました。今後は1歳児と2歳児合同でのコーナー環境か	

ら、それぞれの姿に合った別々の環境を整備するなど、千住大橋園らしい保育のあり方の構築に、引き続き取り組んでいく計画があり期待します。

評価項目 2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

安心して子どもを預けられる保育園でありたいと考え、保護者の想いや悩みを理解することで、保護者に寄り添い信頼関係を築くことを課題とし取り組みをおこないました。コロナ禍が続き、保育参観や運動会などの例年の行事が中止や保護者の参加なしでおこなわれることが続きました。直接対面しない保護者アンケートやオンライン面談が、コロナ禍でも保護者との接点を増やすことができる保護者支援だと考え、実施をしました。育児のお悩みアンケートでは、育児の悩みがあるか、園に相談したいことはあるかを問い、アンケートの回収後は、保護者が希望する方法（対面/電話/オンライン）で悩みごとに対する保護者対応をおこないました。オンライン保護者面談では、保護者面談を希望する家庭と担任が、オンラインで面談をおこないました。普段の登降園時に聞く話題以外の事柄を知れたり、聞いたことのある話題でもその悩み具合がよく分かり、担任が保護者支援をするうえで貴重な情報源となりました。その後の対応においても、悩んでいる事柄について、園内や外部から情報を得るなど準備をして丁寧に対応し、保護者からの信頼を得る結果となりました。今後も保護者支援に能動的に取り組む計画があります。

目標の設定と 取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む）
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

コロナ禍において直接対面しての丁寧な保護者支援が出来ないことを重要課題と捉え、対面せずに出来る方法を話し合い、実施する取り組みをおこないました。育児のお悩みアンケート、オンライン保護者面談の他にも、経験則から子どもの成長の過程での次に起きるであろう育児の悩みや不安を先回りして、園だよりのコラムにし伝える取り組みなどもおこないました。悩みや不安を年に何度かだけではなく日常的に相談してもらいやすくするため、園玄関に用紙および回収ポスト（ご意見投稿ボックス）を常設し通年で保護者支援をしていく予定があります。取り組みの結果、次の悩み相談が言いやすいなどの声もあり園を信頼してもらっていると感じる関係性が構築されてきています。園の利用者だけでなく、地域の育児家庭に向けた保育園体験と付随した育児相談も開始し、地域貢献と園の保育を知ってもらい入園につながる取り組みがあります。今後は先輩ママたちの悩みや情報をまとめ共有し、園の集合知として活用していく計画があり、より一層の保護者支援に期待します。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリ－6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリ－1		
	サービス情報の提供		サブカテゴリ－毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1		
	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点（ ○○○○ ）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリ－1の講評 サブカテゴリ－1の講評を入力してください		
2	サブカテゴリ－2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリ－毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1		
	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点（ ○○○ ）

① 園のパンフレットは独自に作成し、千住大橋園の特徴が伝わるように工夫をしています
 区のホームページで園の基本的な情報の提供、同ページより閲覧できる園のホームページにて、より詳しい情報の提供をしています。園のパンフレットは、千住大橋園の特徴が伝わるように法人のものを基に独自に作成し、コーナー保育や異年齢保育の様子、子どもたちの自由な発想や「したい」という意欲を大事におこなっている、園独自の教育プログラム「チャレンジタイム」の内容や取り組む様子を写真と共に紹介しています。チャレンジタイムを組み込んだ一日の流れの詳細も載せており、利用希望者が園の生活をイメージしやすいように工夫をしています。

② 園見学では、独自に取り組んでいる保育内容や大切にしている事を丁寧に説明しています
 園見学は電話のほかに直接来園でも受け付け、日程調整のうえ随時開催し、主に園長が対応しています。園見学では、小規模園ならではの「一人ひとりを大切にした丁寧な保育」をおこなっていること、子どもの主体性が育まれるように「あそびを選べるコーナー保育の環境」を整えていること、社会性を育てることも重視して「異年齢保育」を取り入れていること、遊びながら学ぶ活動「チャレンジタイム」という知育プログラムを園独自に取り入れていることを伝えています。また、より具体的に園の様子がわかるよう保育園で保育士と遊ぶ体験型の見学会、「ほいくえんであそぼう」も新たに実施しています。

③ 利用希望者が安心できるように、見学時に卒園後の手続きなどを詳しく伝えています
 利用希望者には、園のパンフレットを渡して園の様子を伝えるほか、区の小規模保育利用案内のパンフレットを参考に、小規模保育園の概要や小規模ならではのメリット、認可園との違いなど、「小規模保育園」についての説明をしています。また、園の説明だけでなく、先々を見通す利用希望者目線に立ち、卒園後の預け先における行政のシステムや手続きなども詳しく説明をしています。3歳児以降も保育園に入園できる体制が整備されていることを丁寧に伝え、利用希望者の不安を軽減することで、安心して小規模保育園を利用してもらえるようにしています。

評価		標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	
評価項目 2			
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			評点 (○○○)
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当	
サブカテゴリー 2 の講評		サブカテゴリー 2 の講評を入力してください	
① 入園時の説明会や面談で、園の詳しい説明や保護者の意向確認を丁寧におこなっています 家庭ごとに入園説明会を兼ねた新入園児面談を実施し、重要事項説明書を使って園長が説明をしています。 園の基本的な決まり事や園生活でのお願い事項を丁寧に伝えるほか、個人情報の取り扱い、画像・動画の使用、写真販売、情報共有アプリの使用などについて、保護者の意向を確認して同意書を取り交わしています。 入園までの子どもの生活状況、子どもの保護者からの要望や質問など、聞き取った内容は記録をしておいて残しています。じっくり説明や話のできる面談時間を設けることで、保護者が質問や相談ごとなどをその場で伝えやすいようにしています。 ② 慣れ保育は子どもが安心できるように配慮をしながら、保護者と相談をして進めています 入園までの生活状況や健康の記録、食物アレルギーアンケートや食材チェック表、面談で聞き取った内容など、入園時に得た子どもの情報は職員会議で共有をして、慣れ保育にあたっています。なるべく同じ保育者が子どもと長い時間接するように配慮をするほか、子どもに無理のないように、保護者に短くとも 7 日から 10 日程度の期間をかけられるように協力をお願いし、個別に相談をしながら進めています。迎え時には子どもの様子を丁寧に伝え、保護者からの質問や家庭での様子も丁寧に聞き取り、子どもも保護者も安心して過ごせるようにしています。 ③ 卒園後も保護者が安心できるように、継続的な支援に取り組んでいます 卒園の際には卒園証書や制作帳のほかに、お祝いのメッセージ入りの手づくりの卒園アルバムを贈呈しています。退園や転園時にはお別れのメッセージや写真入りの制作帳をプレゼントしています。卒園に向けては、3 歳児以降の預け先へのサポートをして保護者の不安を軽減し、卒園後も就学前まで一時保育の制度が利用できることを伝えています。実際に幼稚園の入園式までの春休み期間に卒園児が利用するなど、卒園児の親子への支援となっています。今後は、園としての継続的な支援への取り組みを考えていく予定です。			
3	サブカテゴリー 3		
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1			
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している			評点 (○○○)
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	

●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 (○○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当
評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー 3 の講評 サブカテゴリー 3 の講評を入力してください		
① 子どもに関する情報の収集と更新などを都度おこない、職員間で共有をしています 子どもの心身や生活状況に関する情報は児童票に記載をして保育室の棚に保管をしています。児童票には児童記録、食材チェック表、個別指導計画などがあり、毎月確認をして更新しています。連絡帳は毎日記入をして保護者とやりとりをし、連絡帳を通しての保護者の声や送迎時に聞き取った保護者のニーズなどは月ごとに記録し、その対応についても個別に記載をしています。子どもの課題の状況や進捗について、職員間では日々の会話や職員会議などで共有をするほか、必要に応じて保護者とも話す機会を設けて課題の共有や進捗状況の確認をおこなっています。		
② 保育所保育指針に基づき、子どもの姿を大切にしたい保育の計画を立てています 本部が作成をしている全体的な計画と保育所保育指針に基づき、年間及び月間指導計画、食育計画、行事計画、個別計画などを立案しています。作成にあたっては、月齢で見られる発達や子どもの姿を大切に、養護と教育それぞれの領域を考慮した内容を考え、季節や行事に関する事項なども取り入れた計画になるようにしています。月別の計画は毎月評価・反省をおこない、翌月の計画に活かしています。年間の計画は期ごとと年度末に振り返りをおこなっています。保護者には、月の目標は園だよりで伝え、個別の目標については保護者面談で説明をしています。		
③ 保育の中で感じた子どもの様子を、昼礼や日々の職員同士の会話で共有しています 昼礼で各クラスからの報告の時間を設け、週ごとに子どもの状況についての細かい情報を職員間で共有して		

	います。また、クラス内での情報のやり取りについても、正規職員とパート職員とで活発におこなっています。日頃からの職員同士のコミュニケーションを通して、保育の中で感じた子どもの様子についての情報や意見の交換をし、園全体で子どもたちの姿を把握しています。子ども一人ひとりの情報は個別に記録をして保育室の棚に保管をし、いつでも自由に閲覧できるようにしています。また、昼礼の内容は保育士ノートに記載して全職員が確認しています。		
5	サブカテゴリー 5		
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリー 5 の講評		サブカテゴリー 5 の講評を入力してください	
① 子どもに関する個人情報の管理とプライバシーの保護、羞恥心への配慮に努めています 個人情報の取り扱いにおいては、画像や動画の使用を含め、入園時に保護者の意向を確認して同意書を交わしています。また、公的機関や医療機関などとの連携に必要な際は、情報を提供する場合がある旨についても同意を得ています。保育面では子どものプライバシーにも配慮をし、着替えやおむつ交換時には外部から見えないようにカーテンを閉めたり、子ども同士が見えない位置でおこなったりしています。また、着替えの際にはおむつや下着一枚にならない着脱の仕方援助し、子どもには着替えの意欲が芽生える頃から声をかけて伝えています。 ② 子どもの気持ちの尊重、保護者の価値観や考え方への寄り添いを大切にしています 保育において、気持ちのぶつかり合いや玩具の取り合いなどが生じたときは、子どもの言葉やその行動に至った気持ちを汲みとって代弁したり、共感したりすることを大切に考えています。昼礼では、けんかななどの事象を共有するだけでなく、0,1,2 歳という年齢ならではの事象の背景や気持ちを推し量り、子どもに寄り添える支援について話し合っています。保護者には「自分以外の子どもと関わりがあるからこそその姿である」ことを伝えて理解を得るほか、子育てや生活についての保護者の価値観や考え方にも寄り添うことを心がけています。 ③ 子どもの尊厳を守る保育や支援について、振り返りや研修をおこなっています 子どもの目線に立ち、名前を呼ぶ時は呼び捨てなどはせず、食事は子どもの食べる意欲や気持ちに寄り添い、抱っこや手をつなぐ前にも必ず声をかけるなど、子ども一人ひとりの人権を尊重した保育を心がけています。職員は年に 1 回、「保育実践振り返りシート」を活用した人権擁護におけるセルフチェックを実施し、保育実践内容のほかに自分たちの言動についても共有をしています。ほかに育児困難家庭への支援の仕方や虐待の防止などの研修に参加し、研修の報告会と報告書の閲覧等で内容を共有して理解を深めています。			
6	サブカテゴリー 6		

事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当
サブカテゴリー 6 の講評 サブカテゴリー 6 の講評を入力してください			
① 実用性を考えた、園や地域の状況に合わせた独自のマニュアルを整備しています 業務の基本書やマニュアル等は本社が作成しています。また、部分的に園の施設や地域の合わせた水害マニュアル、子育て支援マニュアル、園外保育マニュアルなどを園独自で作成し、園の実態や実用に即したものとなっています。各マニュアルは分野ごとにファイリングして事務所で保管をし、誰でも手に取っていつでも確認できるようにしています。変更点や大切な再確認事項などがある場合は、保育士ノートに回覧用として添付し、全員が目を通せるようにして周知を図っています。今後は定期的な見直しに力を入れ、さらなる整備を進めていく予定です。 ② さまざまな業務の手順や対応が、適切に且つ迅速にできるように努めています 各マニュアル内に定められている手順の中で、現場で迅速な対応のために必要な事項はフローチャートにし、随所に掲示をしています。アレルギー児への食事提供方法、消毒や嘔吐処理方法、災害用伝言ダイヤルの操作方法、怪我・事故等の対応手順など、誰もが適切に且つ迅速な対応ができるようにしています。対応の基準や行政の取り決めが状況によって改変されていく新型コロナウイルス感染症の情報、そのほかの国のガイドラインなどは、随時、更新と周知を図り、職員及び保護者とで最新の情報を共有に努めています。 ③ 質の良いサービスの提供に向けた体制の整備や園独自の取り組みを実施しています 提供しているサービスの基本事項や手順等は、子どもの実態とも照らし合わせ、職員からの意見や提案に対して担当職員と話したり、昼礼で全員に話したりして、適宜修正をしています。子ども主体の保育を目指したコーナー保育の導入、園独自の知育プログラムの実施、保護者へのアプリ配信による保育の見える化など、職員や保護者の意見や提案を反映し、より良いサービスの提供に取り組んでいます。また、分野ごとに選出をしたリーダーを中心に、さまざまな取り組みや見直しをおこなっていき、サービスの質向上に努めています。			

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4																				
サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況																			
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている 評点（ ○○○○○ ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table> 評価項目 1 の講評 評価項目 1 の講評を入力してください ① 子どもの全体的な姿や発達を把握し、一人ひとりの育ちを大切にしています 子ども一人ひとりの姿や発達は、毎週の屋礼や保育士同士のコミュニケーションを通して詳しく把握をしています。子どもにじっくりと関わりながら個々に合った援助について職員間で意見を出し合い、一人ひとりの育ちに寄り添った丁寧な保育を心がけています。使ったものを元の場所に一緒に手を添えて戻したり、一斉ではなく一人ずつ「いただきます」のあいさつをして食事を始めたり、子ども一人ひとりの育ちや気持ちを大切にしながら、ひとつひとつの活動を進めています。 ② 子どもの興味・関心を引き出せる環境の下で、主体的に活動できるようにしています 遊びたい玩具を子どもが自分で選べる棚や絵本棚を設置したり、おままごとなどのコーナー保育を取り入れたりして、子どもの興味・関心を引き出せる環境、子どもの主体性が育まれる環境づくりを目指しています。散歩先で見つけたカニをきっかけに生き物に興味を持ち、釣って持ち帰ったカニや職員が持ち込んだカブトムシを毎日興味津々に覗き込み、動いたことに一喜一憂したりさまざまな発見をしたりしています。早番・遅番の時間以外にも異年齢児と自由に遊べるようにし、年下児を可愛がる気持ちや年上児に憧れの気持ちを持てるようにしています。 ③ 子どもの気持ちに寄り添い、互いの思いを伝え合えるように配慮・援助をしています 玩具や場所の取り合いや気持ちのぶつかり合いが生じたときは、それぞれの気持ちを汲み取り、言葉の未発達な 0～2 歳児という年齢を踏まえて「○○だったね」と声に出して気持ちを保育者が代弁し、「○○だったのかな?」と思い丁寧に確認しながら子どもの気持ちに寄り添うことを大切にしています。また、子ども同士のトラブルを報告書に記録し、発生の場合や場所、時間帯、曜日別、自傷か他傷かなどの怪我の詳細などを細かくデータに起こして分析し、再発防止に向けた対応や環境設定、起きた時の対応の仕方について話し合っています。	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当																		
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当																		
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当																		
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当																		
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当																		
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点（ ○○○○ ）																			

評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当	
評価項目2の講評		評価項目2の講評を入力してください	
① 保護者と連携をとり、子どもの生活状況や体調を連続的に把握するように努めています 保護者や子どもが安心して登降園できるように、子どもの受け入れ・受け渡しは基本的に担任がおこなっています。担任不在の時でも、丁寧な対応ができるように職員間で連携をとっています。登園時は、休日の検温も記入をした健康カードを活用しながら家庭での様子を聞き取り、子どもの生活が24時間であることに配慮をした保育ができるようにしています。朝の子どもの顔色や様子を見るほか、皮膚の状態や虫刺されなどないか丁寧に視診をおこない、些細なことにでもすぐに気付けるように心がけています。 ② 一人ひとりの発達や意欲を大切にしながら、基本的な生活習慣が身につくようにしています 食事は、1人から3人と少人数の子どもを対象にした介助をおこない、一人ひとりの咀嚼状況や嚥下の様子を観察し、発達状況の把握や誤嚥・誤飲の無いうように気をつけています。トイレトレーニングは月齢ではなく、個々の個人差や子どもの気持ちにトレーニングに向いているかに配慮をしながら、保護者と相談をして進めています。トイレにはキャラクターや親しみのあるイラストを貼り、子どもが楽しく安心してトイレに少しずつ慣れていけるようにしています。また休息やお昼寝の時間は、家庭での就寝・起床時間を確認して柔軟に対応をしています。 ③ 子どもの体調や一日の様子を丁寧伝え、保護者に安心してもらえるようにしています 園での生活の様子は、個別の連絡帳に毎日記入をして保護者に知らせるほか、迎え時に園でのエピソードや、体調面で気になったことなどを担任が口頭で直接伝えています。園全体の日々の活動内容や子どもたちの姿は写真にコメントを添えてアプリで配信をし、保護者により詳しく且つ分かりやすく様子を伝えられるように工夫をしています。担任不在時にも伝達事項等の漏れが無いように、しっかり担任から引き継ぎをおこない、保護者と子どもが安心して帰れるように努めています。			
3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点（ ○○○○○○ ）		
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当	
評価項目3の講評		評価項目3の講評を入力してください	
① 子どもの自主性が育まれ、主体的に遊べる環境づくりに取り組んでいます 子どもの自主性が育まれるようにコーナー保育を導入し、子どもが自分で玩具や絵本を選んで遊べるよう			

に、手に取りやすい場所に配置をしています。コーナー保育を通しての「育って欲しい子どもの姿」の実現に向けて、目の前で遊ぶ姿と照らし合わせながら職員間で意見を出し合っています。保育環境のリーダーとなった職員を中心にコーナー環境の見直しや、玩具の入れ替えなどをして、子どもの興味や関心が広がるように、保育環境の向上に取り組んでいます。今後は、子どもの主体性の育ちを意識した保育者の関わり方の確立に向けて取り組む予定です。

② 日々の活動を楽しみながら言葉の習得や豊かな感性が育まれるようにしています

毎月決めた季節の歌や手遊びを朝の会でおこない、たくさんの音や言葉にふれて表現が豊かになるようにしています。1歳児より独自の知育プログラム「チャレンジタイム」で、造形、英語、体操、知育、音楽とさまざまなことに取り組み、自分で考えたり、思い思いのかたちで自分らしさを表現したりすることを楽しんでいます。生活や友だちとの関わりの中で、自分の欲求や気持ちをうまく言葉にできない時は、「貸して」「順番ね」「待ってあげようね」など、ひとつひとつの動作に言葉を添えて場面に応じたやりとりができるようにしています。

③ 戸外活動を積極的に取り入れ、さまざまな自然の探索や運動あそびを楽しんでいます

近隣の公園や川などに遊びに行き、アリなどの虫探しやカニ釣り、冬は雪遊びなど、季節を感じたり、生き物や自然物に興味を持ったりできるようにしています。公園や道中では探索を楽しんだり、歩いたり、追いかけてっなどして、からだをたくさん動かしています。雨に日も室内で体を十分に動かすことができるように、チャレンジタイムの体操やサーキット遊びなどを取り入れ、体幹や筋力がつくようにして発育の促進につなげています。保育室から直接出られるテラスでは、水あそびをしたり、車や電車を見たりして楽しんでいます。

4

評価項目 4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目 4 の講評

評価項目 4 の講評を入力してください

① 行事に向けた取り組みは、子どもの興味・関心・育ちを大切に進めています

行事を実施するにあたり、対象が乳児であることを踏まえ、子どもが内容をある程度理解して楽しめるか、保護者参加の行事は子どもが共に楽しめるかをじっくり職員間で考え、意見を出し合って決めています。月の制作内容を行事に絡めて選定して、行事前に保育に取り組んだり、日頃の保育で得た子どもの興味・関心・発達の様子を競技や演目に取り入れたりして、子どもが楽しみながら行事に参加できるように配慮しています。行事後は反省をおこない、乳児ならではの配慮や見通しを持った対応策などを話し合い、次につなげています。

② 子どもがやり遂げることの喜びを味わえるような保育の工夫をしています

園独自におこなっているチャレンジタイムを通して、試行錯誤をしながら知育プログラムに最後まで取り組んだり、制作物を作り上げたりとやり遂げる達成感を味わえるようにしています。また、野菜の栽培による収穫では実った喜びを友だちや保育者と共感をして、みんなで協力をして達成をする経験をできるようにしています。運動会においては、みんなでゴールを目指す内容の競技を取り入れるなど、乳児でも「みんなで協力をしてやり遂げる達成感」を味わえるような工夫・配慮をした保育をおこなっています。

	③ 保護者参加以外の行事での子どもたちの様子を、写真や動画配信でも伝えています 保護者には、年度始めに年間行事予定を園だよりで知らせています。保護者参加の行事については、開催前に詳細を知らせる手紙を配布しています。季節の行事など、保育中におこなう行事はアプリで写真や動画の配信をして、子どもたちの楽しむ様子を伝えています。今年度より保護者参加行事のあとにアンケートをおこなっています。恒例だからという理由で同じ行事をおこなっていくのではなく、保育のねらいや職員の声、またアンケートで寄せられた保護者の声を反映し、行事の時期や内容の見直しや柔軟な対応を検討していく予定です。		
5	評価項目 5		
	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目 5 の講評 評価項目 5 の講評を入力してください			
① 子どもの変化に気をつけ、心身ともに安定をした一日が過ごせるようにしています 体調の急変が起きやすい乳児に対する長時間保育については、体調に変化が見られないかをより気にかけ、き、細やかな対応をしています。顕著な体調の変化が見られなくても、気持ちが安定しているか、疲れている様子はないか、いつも通りの食欲や排せつ状況かなど、一人ひとりの子どもの全体的な様子に目を向けています。保育の中で変化を感じ取った場合は、1対1でのスキンシップをどってゆっくり接したり、お昼寝の時間を早めたりするなどの配慮をし、一日を通して子どもが安定をした状態で過ごせるように努めています。 ② 延長保育時間の時間帯も、子どもが楽しく過ごせるように工夫をしています 早番・遅番の時間帯でも、子どもからのリクエストに応じて遊びたいおもちゃを提供し、日中から夢中になっている遊びが継続してできるように配慮しています。また、決まったおもちゃや遊び方ではなく、普段とは異なるおもちゃを提供したり、ルールのある遊びのような集団遊びを取り入れて職員と楽しんだり、子どもが延長保育時間を楽しんで過ごせるように工夫をしています。また、時間によってワンフロアで全年齢が合同となる場合は、0歳児の子どもたちの傍には職員が付くようにして、安全に配慮をしています。 ③ 保護者が安心して早番・遅番の延長保育を利用できるように工夫や配慮をしています 玄関先に設置している子どもの出席タイムカードに、汚れ物の持ち帰りがあることを知らせるクリップを止め、連絡漏れや汚れ物の返却し忘れの無いように工夫をしています。保護者にその日の子どもの様子を伝える際には、クラスの活動内容だけではなく、一人ひとりのエピソードも併せて伝えるようにしています。また、いつもより眠そうな様子や疲れている様子など、普段と異なる姿が見られた時は連絡帳で知らせるほか、口頭でも伝えています。担任が直接伝えられない場合は、遅番を担当する職員に引継ぎをして、保護者にしっかり伝えられるように努めています。			
6	評価項目 6		
	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (○○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	

●あり ○なし		4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている		○非該当	
評価項目 6 の講評				評価項目 6 の講評を入力してください	
① 子どもにとって楽しい食卓、嬉しい食事となるように努めています 毎日、栄養士と調理員が子どもたちの喫食状況を見て、具材の大きさや調理方法、味付けの工夫をしています。当園では「楽しく食べること」「食材や食文化などに興味・関心を持つこと」を大切に、日々の食事や月 1 回の食育活動を通して、子どもの食べる意欲や食べる楽しさにつながるようにしています。月に 2 回のイベントメニューは、行事食の取入れや季節を感じるものだけでなく、「お月見コロッケ」や「うさぎさんライス」など、子どもが喜び、食卓が楽しくなるように工夫を凝らしています。 ② 子どもの発達や体調に合わせた、安全な食事の提供をしています 初めて食べる食材については家庭からはじめてもらい、食材チェック表を用いて確認をしています。また、離乳食は子どもの咀嚼や嚥下状況を見ながら、家庭と連携をして進めています。アレルギー食への提供においては、誤食などが起きないように定められ手順に沿って複数の職員で確認をおこない、安全に十分な配慮をしています。また、アレルギー食の対象の子どもが疎外感を感じないような環境への配慮もしています。給食は子どもが自分のペースで食べ勧められるように、「自分で食べたい」という気持ちに寄り添い、見守りながら進めています。 ③ 毎月さまざまな食育活動に取り組み、食材や食にまつわる文化にふれています 食育活動を毎月 1 回おこない、子どもが食材や食文化などを知り、食べることへの意欲の向上につなげていきます。ミニトマトやジャガイモの栽培や収穫、とうもろこしの皮むきなど、さまざまな食材に触れるほか、冬至におこなう「ゆず湯」を桶に湯を張って足湯にして楽しむなど、食にまつわる風習にもふれています。食育活動や普段の給食での様子を保護者に伝えたり、収穫した野菜を飾って見てもらったりすることで、食に興味・関心をもち、家庭での食に関する悩みなどを聞ききっかけができ、保護者とのコミュニケーションが深まっています。					
7 評価項目 7					
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している				評点（ ○○○ ）	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当	
●あり ○なし		2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当	
●あり ○なし		3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている		○非該当	
評価項目 7 の講評				評価項目 7 の講評を入力してください	
① 日々の健康管理を通して、子どもが健康や安全に関心を持てるようにしています 毎月の身体測定と年 2 回以上の健康診断をおこない、発育の状況と健康状態の把握・確認をしています。また、日々の朝の視診や日中の健康観察を丁寧におこない、変化が見られた場合は看護師や園長に相談をして、適切な対応ができるようにしています。そのほか、安全衛生リーダーとなった職員が手洗いや交通安全のお話を企画し、子どもと正しい手の洗い方や横断歩道の渡り方などを楽しく実践しながら身につくようにしています。感染症対策に大切な手洗いは、継続して子ども自身が意識できるように、洗面台の壁に手洗いの仕方のポスターは貼っています。 ② けがや事故の防止に努め、子どもが安心・安全に過ごせるようにしています 歩行や体のバランスが不安定な年齢であることや、何でも口に入れやすい発達段階であることを踏まえ、転倒した際に怪我をしないように棚や机の角にガードクッションを付け、誤飲の可能性のあるものや大きさの					

	玩具などを提供しないようにするなどの配慮をおこない、事故や怪我の防止に努めています。また、発生したケガなどのトラブルを「トラブル報告書」に記録し、月に1回「トラブル報告の分析」として担当リーダーがまとめて職員間で共有し、子どもが安全に過ごせるように再発防止策について話し合っています。 ③ 家庭と連携をして、子どもの病気予防や健康維持に努めています 感染症が発生した場合は掲示やアプリの配信にて保護者に知らせるとともに、主な症状や感染予防のポイントを伝えています。また、乳児に多く見られる乳幼児突然死症候群（SIDS）においては、家庭での子どもの寝方の聞き取りをするほか、保育室には「教育・保育施設」における SIDS 対策が詳しく掲載されているフローチャートを掲示し、職員間で予防に努めています。熱中症の注意喚起やファストドクターの紹介などのポスター掲示、保健だよりで事故や誤飲による窒息の情報提供などをおこない、家庭とともに子どもの健康を守れるようにしています。																				
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点（ ○○○○○ ） <table><thead><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr></thead><tbody><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. 保護者同士が交流できる機会を設けている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している</td><td>○非該当</td></tr></tbody></table> 評価項目 8 の講評 評価項目 8 の講評を入力してください ① 保護者に保育活動の様子や子どもの姿を丁寧に伝え、安心してもらえるようにしています 保護者との日々の会話や連絡帳で家庭状況を把握し、各事情に配慮をした支援をおこなっています。保護者とのコミュニケーションを大切にし、玄関での挨拶のほかに保育中の小さなエピソードも交えて、子どもの様子や成長を伝えています。保護者からの相談や質問には丁寧に対応することを常に心がけ、行事では全ての保護者に積極的に話かけて、職員との信頼関係が深まるようにしています。子どもの様子や保護者の思いは職員間で共有をし、担当しているクラスだけでなく、園全体の子どもたちや保護者の支援に努めています。 ② 保護者との信頼関係を築き、一緒に「生きる力」を育んでいけるように努めています 毎月の園だより「マンスリーレター」には、各クラスの様子、チャレンジタイムの様子、保健・衛生関係、給食・食育関係の内容をまとめて掲載しており、「活動」「健康」「食事」の全てが子どもの成長・発達につながり、「生きる力」が育まれていくことを分かりやすく伝えています。また、年に1～2回の個人面談をおこなって、保護者の悩みや質問をじっくりと丁寧に聞き取るほか、希望に応じて話をする時間を設けています。どのようなことでも保護者が気軽に相談ができ、安心して預けられる園を目指しています。 ③ 感染対策やさまざまな工夫をしながら、保護者が子どもの成長を見る機会を設けています 七夕園祭り、運動会、卒園式などの保護者参加の行事をおこない、子どもと一緒に楽しんだり、成長を感じられたりできる機会を設けています。年に2回実施している保育参観は、園での普段の様子を見てもらえるように保育室の窓に目隠しをして、覗き穴から子どもたちの遊ぶ様子や朝の会や食事・着替えなどの生活の様子を見てもらう方法でおこなっています。コロナ禍の影響で昨年度と一昨年度の実施を見合わせていた保育参観ですが、今年度は秋以降での実施を予定しています。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当																			
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当																			
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当																			
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当																			
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当																			
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点（ ○○ ） <table><thead><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr></thead></table>			評価	標準項目																
評価	標準項目																				

●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目 9 の講評 評価項目 9 の講評を入力してください		
① たくさんの地域資源を活用して、いろいろな経験をする機会を設けています 近隣の公園に散歩に出かけて季節の移ろいを感じたり、虫探しや探索をしたりして楽しんでいます。また、隅田川の土手では土手滑りを楽しみ、カニなどの生き物を見つけて園に持ち帰って飼育をするなど、豊かな自然にたくさんふれています。近くの神社では、初詣のお参りをしたり、画用紙で作った千歳飴の袋を持って七五三のお祝いの写真撮影をしたりしています。ほかに交番や駅に訪問に行くなど、たくさんの地域資源を十分に活用し、かつ、活用の取り組みが何年にも渡って継続しています。 ② 毎年、最寄りの駅の駅員さんや交番のおまわりさんとの交流を楽しんでいます 地域交流会で最寄りの駅や交番を訪問し、職員の方との交流を楽しんでいます。特に駅員さんとの交流は開園当初から続いており、子どもたちが作ったカレンダーやメッセージカードなどを持って訪問し、手づくりプレゼントを渡しながら感謝の気持ちを伝えています。駅の事務所やホーム、駅員さんの仕事をしている様子を見学できる貴重な機会となっています。帰りには駅員さんから鉄道会社のお土産をもらって喜んでいます。また、交番訪問の際はパトカーの前でおまわりさんと一緒に写真を撮ったり、ストラップをもらったりしています。 ③ 地域の人や園以外の子どもたちとの、親しみを持った交流が多く持てるようにしています 連携園の公立保育園との交流を持ち、園を訪ねて一緒に遊んだり、園庭開放を利用させてもらったりしています。幼児との交流は子どもたちにとって貴重な経験となっているほか、園の職員以外の人と親しく関わったり、卒園後に上がる幼児クラスの雰囲気も感じられたりする機会ともなっています。園から発信の地域貢献としては、入園を考えている地域の人を対象にした保育体験の試みを始めており、「ほいくえんであそぼう」と題して園テラスにポスターを貼って宣伝しています。発達相談等も兼ねて、月に 1～2 回での開催継続を予定しています。		

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる
タイトル①	職員全員が各リーダーとして年間マニフェスト達成を目指す発展的な取り組みがあります	
内容①	職員全員がいずれかの分野別リーダーとして着任し、年度始めに各自マニフェストに年間目標を3つと取り組むべき業務を明記したものを作成しています。マニフェストには実現度合いが定量化できるよう具体的な数字を盛り込み、毎月の面談で進捗を確認し、計画を見直ししながら目標達成に向かう取り組みがあります。年度末の面談で評価・反省し、振り返りを記録しています。具体的にいつ、何をどのようにおこなうか計画を立て、計画通りに業務ができるように支援し、各分野で目標を達成することで園全体が年々良くなっていく発展的な取り組みがあります。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている
タイトル②	子どもたちの自由な発想や意欲を大切に、園独自の知育プログラムに取り組んでいます	
内容②	子どもが遊びながら主体的に学べる園独自の知育プログラム「チャレンジタイム」を作り、実践に取り組んでいます。英語、音楽、知育、体操、造形の5つの分野を保育士が担当を分担し、月ごとにテーマを決め、どのような子どもの姿を目指して取り組むかを計画し、具体的に実践する内容を計画表に明記しています。5つのプログラムは5月から12月の期間、1,2歳児を中心として、曜日別に毎日の午後おやつ後に15分～20分程度おこない、色をテーマにした英単語、鈴やカスタネット、箸を使ったあそび、サーキット遊び、季節の制作を楽しんでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	コーナー保育に取り組み、子どもが主体的に遊べる環境づくりに努めています	

内容③	子どもの主体性や豊かな人間性を育むことを目指す環境づくりに取り組み、子どもが自分からあそびを選択し、遊びこむ経験が重ねられるようにしています。保育室内にままごとや絵本コーナー、静と動の空間分けをすることで、子どもが集中をしていきいきと遊ぶ姿があります。また、おもちゃの提供を待っている姿から自分で取りにいく姿に変化し、子どもが「遊びたい時に遊びたいもので遊べる」環境となっています。今後も、設定している環境が子どもの月齢や育て欲しい姿に合っているかどうかを職員間で話し合いながら、向上に努めていく予定です。
-----	--

令和4年度

《事業所名：木下の保育園 千住大橋》

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	風通しのよいフラットな組織運営を目指し、職員の垣根を超え良好なコミュニケーションをとり連携に取り組んでいます
	内容	全職員が保育理念である「生きる力を創る」保育の実現のため、子ども一人ひとりにじっくり関わり寄り添いながら個性や育ちを大切に丁寧な保育を実践することに努めています。そのため風通しのよいフラットな組織運営を目指しており、常勤、非常勤、専門職が良好なコミュニケーションをとり、共に意見を出し合ったり、助け合ったりしながら日々保育にあたっています。疑問や不満を解消し、高い意欲のもと日々過ごせるよう毎月面談をおこない、職員からの声であった新しい取り組みにもスピーディに着手する組織的な仕組みがあります。
2	タイトル	小規模らしいアットホームな雰囲気の中で、子ども一人ひとりとじっくり関わり個性や育ちを大切に丁寧な保育をおこなっています
	内容	少人数であることを活かし、一人ひとりに寄り添い、丁寧に子どもや保護者に関わっています。子ども一人ひとりの様子をこまめに職員間で伝え合って共有することで、個々の発達や育ちを理解し、その子その子に合った対応や寄り添いができ、子どもが常に安心して過ごせる環境となっています。保護者には子どもの日々の様子や成長していく姿を伝え、悩みに共感するなど、気持ちに寄り添うことで安心して子どもを預けてもらえるように心がけています。
3	タイトル	子どもたちの「生きる力」や「豊かな感性」が育まれるように、多くの経験と多くの体験ができる充実した保育を心がけています
	内容	木下の保育園の4つの保育目標にある協調性」「のびのび」「試行錯誤」「探索活動」を目指し、多くの地域資源を活用した戸外活動や独自の知育プログラムへの取り組みをおこなっています。乳児のみの小規模園でも、経験不足や体験不足にならないように、さまざまな要素を取り入れた保育を考えたり、子どもの主体性を引き出せるような環境づくりに取り組んだりしています。一人ひとりの気持ちやペースに合わせた対応ができる少人数の強みを活かした保育を進めていくことで、一人ひとりの持つ可能性や生きる力が育まれています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	現場の意欲が高く保たれ園主体の取り組みが多く、基盤である本社とのさらなる連携体制の構築に期待します
	内容	今年度より体制が変わり、新たに就任した園長と副主任は、前年度までの良い取り組みは継続し、見直しすべき部分は改善に取り組んでいます。以前からの園独自の取り組みであるマニフェストや知育プログラムは続けつつ、新たに保育園体験の開始や、園独自の災害対策マニュアルの策定、古い各マニュアルの見直し、ご意見投稿ボックスの設置など今年度から園独自に始めた取り組み

		が多くあります。園に裁量があり職員の意識も高く、本社との関係も良好ですが、本社との連携をさらに密にし支援を受け、園のみでなく組織全体での取り組みに期待します。
2	タイトル	昨年度よりコーナー保育を取り入れ、保育環境の改善に取り組んでいます。職員間の共通認識を高め、より良い保育環境の整備に期待します
	内容	木下の保育園の理念に基づき、子どもの主体性や豊かな人間性を育むにあたり、保育環境の改善を図るために昨年度よりコーナー保育を導入しています。一年で子どもの姿が大きく変化し、いきいきと自分の遊びたいもの遊び、本来の「育ち」が見られるようになってきています。コーナー保育の導入後も遊びこめる環境になっているか、変化していく子どもの育ちに合った環境になっているかなどの見直しを引き続きおこない、子どものあるべき姿の共通認識が職員間でできるように、さらなる目標を設定し、より良い保育環境に整備されていくことを期待します。
3	タイトル	駅員や交番職員との交流を積極的におこなっています。今後は感染症の様子をみて、地域住民との交流が増えていくことを期待します
	内容	最寄り駅の職員などとの交流は何年にも渡って続けています。コロナ禍前は近隣のカフェの方の協力を得て、ハロウィンイベントのやりとりをしていたが、現在は見合わせています。また、入園希望者による保育園体験を企画し、少しずつ地域の子育て支援にも取り組んでいます。新型コロナウイルスの感染状況を見て、カフェの方との交流の再開や妊婦を対象にした地域子育て支援、地域の人の行事へのお誘いなど、園の認知度の向上も含め、さらなる交流の拡充への取り組みに期待をします。